

# 瀬戸内市(岡山県)の一体的実施 平成24年3月30日事業開始

市役所庁舎内に「ジョブスポットせとうち」を開設し、市とハローワークによる生活困窮者、障がい者、若年者及び子育て女性等に対する一体的支援等を実施

市

福祉サービス、相談の実施等

国

職業紹介・職業相談の実施等



## ① 事業内容

- ・市とハローワークの担当で「就労支援チーム」を結成し、生活保護受給者・障がい者、若年者及び子育て女性等に対する就労支援を実施(利用者に応じた「就労支援プラン」を策定)
- ・就職面接会や遠隔地での出張相談を実施

## ② 協定・事業計画

- ・瀬戸内市長とハローワーク西大寺所長の協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を瀬戸内市とハローワーク西大寺の間で策定

\* 本協定は、緊密な相互連携に基づく就労支援を実現することにより、支援対象者の早期再就職による自立の実現を図ることを規定

## ③ 事業実施協議会

- ・瀬戸内市職員、ハローワーク西大寺職員をメンバーとする事業実施協議会を設置

市役所内の「ジョブスポットせとうち」で、市と国の協働で「就労支援チーム」を結成し、付き添い型の綿密な支援を実施し、福祉から就労への支援を実現

## (1) 実施体制

### 市

- ・ 就労支援員1名を配置

### 国(ハローワーク)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名、職業相談員1名を配置
- ・ 求人情報提供端末3台、職業紹介端末3台を配置

## (2) 事業目標と取組状況

	28年度事業目標	取組状況(29年3月末時点)
生活保護受給者等	○支援対象者数 15人 ○就職率 60%	○支援対象者数 20人 ○就職率 90.0%
	(参考)27年度事業目標 ・支援対象者数 12人 ・就職率 60%	(参考)27年度取組状況 ・支援対象者数 16人 ・就職率 68.8%
障がい者	○支援対象者数 25人 ○就職率 60%	○支援対象者数 22人 ○就職率 95.5%
	(参考)27年度事業目標 ・支援対象者数 25人 ・就職率 60%	(参考)27年度取組状況 ・支援対象者数 22人 ・就職率 90.9%
子育て女性等	○支援対象者数 80人 ○就職率 75%	○支援対象者数 86人 ○就職率 100.0%
	(参考)27年度事業目標 ・支援対象者数 80人 ・就職率 75%	(参考)27年度取組状況 ・支援対象者数 67人 ・就職率 97.0%
市に居住する求職者等	○出張相談 12回 ○就職面接会 1回	○出張相談 12回 ○就職面接会 1回
	(参考)27年度事業目標 ・出張相談 12回 ・就職面接会 1回	(参考)27年度取組状況 ・出張相談 13回 ・就職面接会 1回

# 一体的実施事業による就職成功例

男性：20歳代（生活困窮者）

希望職種：事務関係

※前職なし

## ① 抱える課題

- ・大学中退度引きこもり状況で、就労経験はなく、自分がどのような職種に向いているのか等わからない状況であり、就職できないことにストレスも感じている。
- ・自動車免許は所持しているが、運転経験がないため、自転車通勤を希望。公共交通機関は人が多いため使いたくない。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・瀬戸内市生活支援センター、瀬戸内市福祉課と連携し、支援員同席のもと相談を実施した。
- ・就労経験がないことから就職の可能性を高めるための職業訓練受講中心に家族の理解も得ながら支援を実施した。

## ③ 結果

訓練機関の見学やジョブカード作成等訓練受講のため準備し訓練受講へ応募するも不合格となったが、臨時求人への応募により採用となった。

## ○ ハローワーク担当者の所感

地域生活支援センター、市福祉課と担当者同席での支援を続けた結果、第一歩が踏み出せた。応募に至るまで時間もかかり体力面での不安もあったが、相談を定期的に行い、外出の機会を設けたこと、訓練受講等による資格取得の案内により目標もできたと感じる。今回は、次の訓練受講を視野に入れた期間限定の就職であるが、社会とのかかわりを感じてくれることを期待している。

## ○ 本人のコメント

これから先どうしていいのかわからず家に引きこもっていましたが、職業訓練校で資格を取得し就職するという目標ができた。期間限定の仕事ではあるが、体力・気力を身に着け準備していきたいと思っています。

# 一体的実施事業による就職成功例

女性：40歳代（生活困窮者）

希望職種：軽作業

※前職は食品製造工

## ① 抱える課題

- 家族もなく一人で生活している。
- コミュニケーション能力に乏しく、内向的な性格であり、職場での人間関係が築けず、転職を繰り返している。
- 債務があり、現金が少なく生活が困窮している状況のため早急な対処を要する。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- 瀬戸内市生活支援センター、瀬戸内市福祉課と連携し、支援員同席のもと相談を実施した。
- 応募書類の作成指導や面接への対応についてアドバイスを実施。

## ③ 結果

軽作業であるが、応募求人1件目で採用決定した。

## ○ ハローワーク担当者の所感

急を要する状況でもあり、地域生活支援センター、市福祉課の担当者と連携して、事業所の選定や応募書類の作成、面接指導等を密に実施することにより早期就職につながった。

## ○ 本人のコメント

これから先どうしていいのかわかりませんでしたが、すぐに家の近くでの仕事が決まってよかったです。最初の3か月は試用期間ですが、長続きできるよう頑張ります。